



～共創のまちづくり拠点整備ワークショップ～

リノベーション・ラボ

RENOVATION LAB. FOR CO-CREATION SPACE

NEWS LETTER 03

テーマ: デザインしよう! 共創空間

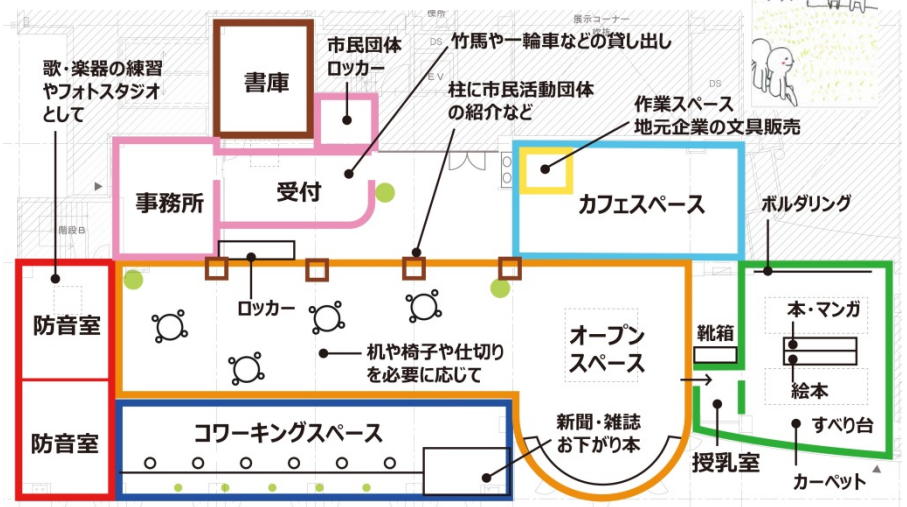
10月13日(木)の午前、名古屋芸術大学アートスクエア2階会議室で、「リノベーション・ラボ」の第3回を開催。参加者はスタッフも合わせて約40名でした。この日、まず最初に一人ひとりが思い描く共創空間のイメージを絵カードに描いてグループ内で共有。続いて、デザインのヒントとなるプチレクチャーを聞いたあと、各グループで1つのコンセプトを決め、これまでの話し合いから出てきた様々なアクティビティを行う10個のゾーンの配置(ゾーニング)を考えました!



- イベントスペース (オープン)
- カフェ・キッチンスペース
- 作業スペース (プリンター・裁断機)
- その他 (防音・軽運動・その他)
- ミーティングルーム (クローズ)
- キッズスペース (遊び場・授乳室)
- 共用スペース (ギャラリー・掲示)
-
- コワーキングスペース (フリー)
- 創作アトリエスペース
- 管理スペース (事務室・受付・倉庫)

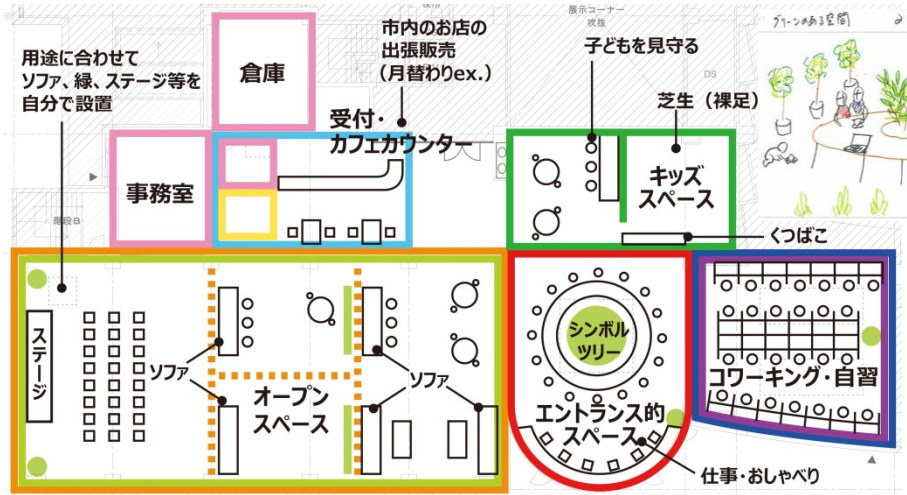
1 自分らしく過ごせる リラックス、アクティブ空間

入口近くのカフェスペースで飲み物を持って各スペースへ。真ん中のオープンスペースが広くとれるように、必要に応じて机や椅子を出し入れしたり、空間が開いた間仕切りで仕切れるといい。キッズスペースは広くし、真ん中に本棚を置く。防音室は大事! 楽器の練習やフォトスタジオにも使えるようにしたい!



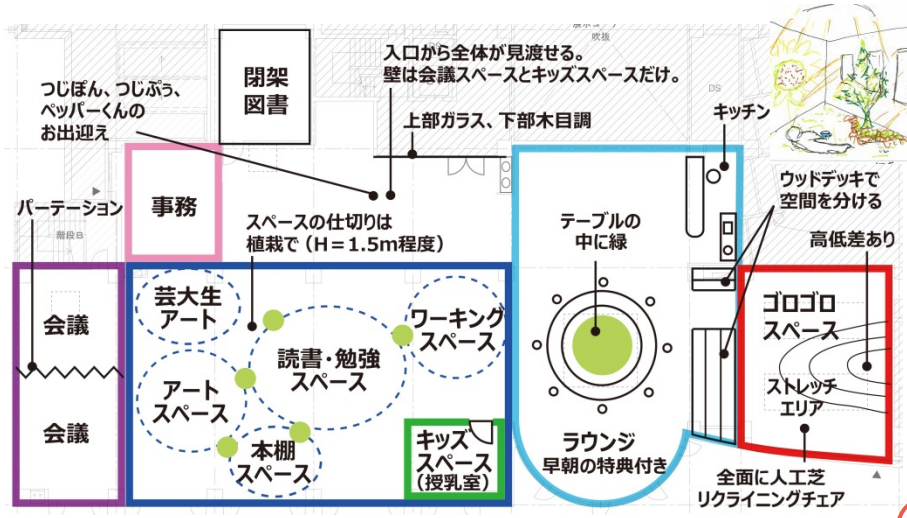
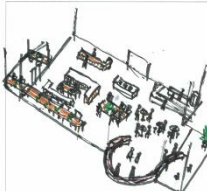
2 緑あふれる フレキシブルスペース!!

いろんな立場や世代の人がいろんな用途で使える空間になるように考えました。トップライトのある場所は、シンボルツリーがあるエントランス的なスペース。その西側は用途に合わせて区切って使えるオープンスペース。東側は勉強や仕事にも使える閉じた空間に。天井はあらわして!



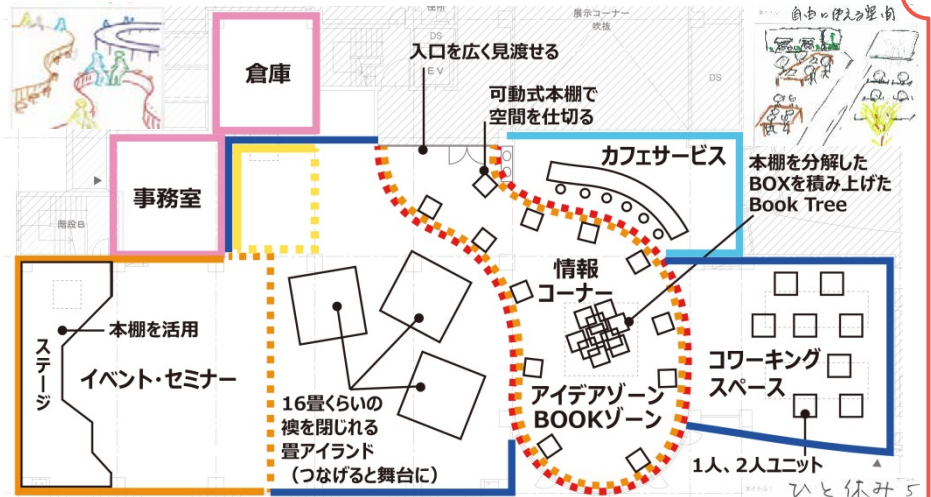
3 遊んで学んで仕事して 一杯のコーヒーでチルタイム

会議室とキッズスペース以外の壁は設けず、開放的でリラックスできる空間に。早朝に来るとコーヒー一杯が無料になるとか、時間のメリハリもあるといい。メインのワーキングスペースは壁がなく、植栽でなんとなく目線が合わないようにする。ゴロゴロスペースも大事! 寝転べてストレッチもできて、長く居られる居心地のいい空間にしたい!



4 ゆるーくつながる自由空間

入口を入ると、本棚を分解した BOX をブックツリーのように積み上げた情報コーナー。図書館の記憶の継承を表現しています。東のコワーキングスペースは、自由に使える小さな什器を並べて使う。16 畳くらいの畳ゾーンでは子どもを遊ばせながらお母さんが打合せもできたり、襖を閉じることもできます。

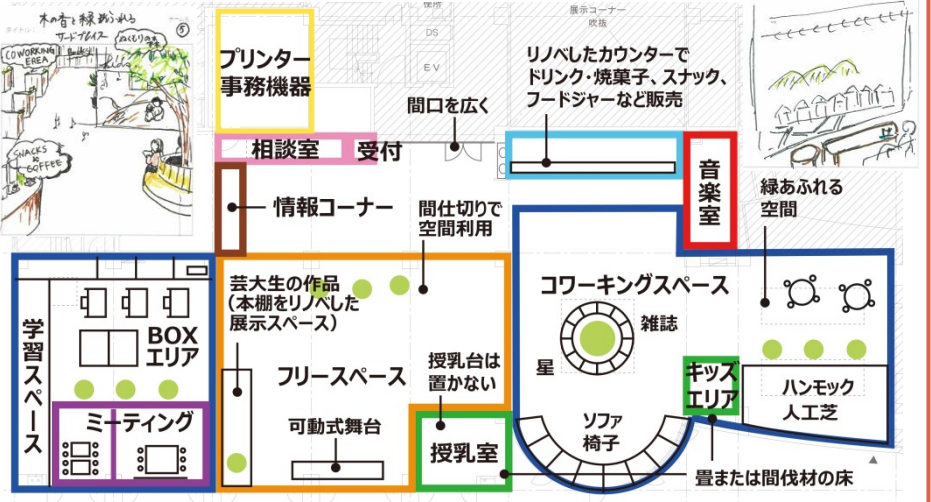


5 五感を癒す/ 全世代型リラックス LABO

入口横のドリンクや食べ物を販売する場所の隣には、ちょっとした音楽室を。キッズコーナーや授乳室は間伐材を使用し、木の香りを感じられるといい。真ん中のイベントスペースは、イベント

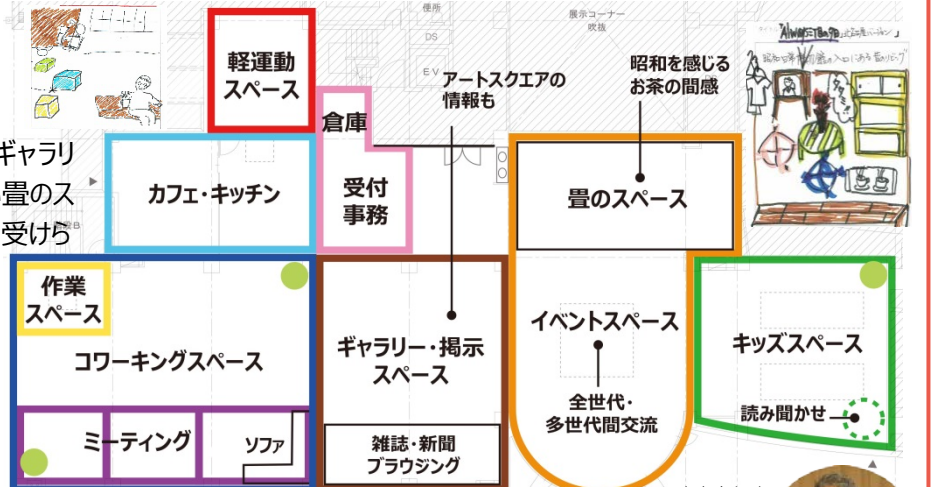


やシアター、フリーマーケットをしたり、舞台を設置したり、芸大生などの作品を展示したり…間仕切りで空間利用。

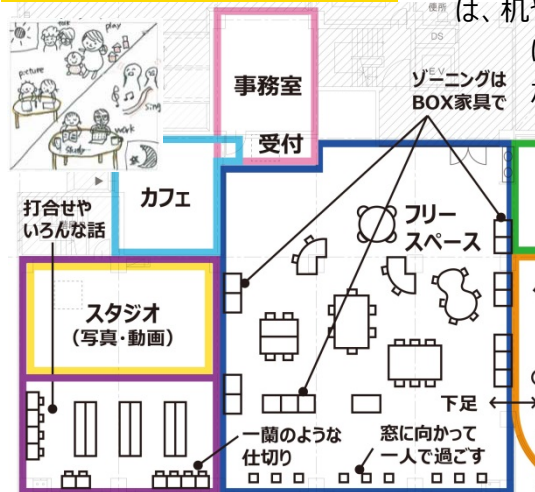


6 交流・出会い・くつろぎ 全世代がHappyになる場

受付を通ると、中心に全ての動線につながるギャラリー・掲示スペースがあります。キッズスペースに近い畳のスペースは、多世代の交流が図れる、互いに刺激を受けられるスペース。コワーキングスペースはオープンなスペースで、中にクローズドなミーティングルームを配置。



7 シンボルツリーを囲う 多様性の空間



授乳室を大きくとり、子育て世代がいっぱい来れるようにします。真ん中のフリースペースは、机や椅子のほかは何もない自由空間に。一番西側だけは壁があって、静かな空間。写真や動画の撮れるスタジオもあるといい！緑あふれる空間にしたい！

講評 使い方をしっかり描いて設計をしたことで、生き生きとした案が生まれてきました。東西に長い空間を上手く使って、うまくつないだり、動の空間から静の空間にうまくエリア分けしたりしていると感じました。また、今あるものを活かして新しい価値を生み出すアイデアもたくさんいただいたので、設計に活かしていきたいと思いました！



たかさん / デザインコンサルシジュ

リノベーション・ラボ④

11月26日(土) 9:30~

@名古屋芸術大学アートスクエア 2階会議室
テーマ:「センターの完成イメージは？」

お問い合わせ:

北名古屋市役所総務部 総務課 (三宅)

☎ 0568-22-1111

✉ katudo@city.kitanagoya.lg.jp